

一般社団法人日本産業カウンセラー協会（以下、協会）は、大きく分けて三つの使命・テーマを持っています。

一つ目は「産業カウンセラー」の資格をとるための研修、資格付与です。「産業カウンセラー」は協会独自の資格で、働く人のメンタル不調を予防するとともに、メンタル不調

ナビゲーター

者のカウンセリングなどを行います。

二つ目は、他の機関も実施していますが、「国家資格キャリアコンサルタント」の研修です。キャリアコンサルタントは、人が自分の生き方、働き方について、悩み迷った時（例えば、学生が初めて就職する時、企業人が転職を考える時、育児・介護と仕事の両立など）に相談のつてくれる人です。企業・

産業カウンセラーの現場から

相談者の思いに
共感して伴走する

回 1

3つの大きな使命

学校などでキャリア開発などについての研修も行います。国は現在10万人のキャリアコンサルタント養成を掲げて、受講料の補助などを行っています。

三つ目は、組織における「人間関係」の問題です。組織で働く人々の悩みで最も多いのは人間関係ですが、これが良好になると働く人のモチベーションが上がり、生産性も向上すると言われています。人間関係の改善のための知見も協会会員は持つっておりそれらはコミュニケーションの取り方、モチベーション、組織開発、働きやすさと働きがいのある職場づくりなどについての原則やノウハウ、実施方法です。

連載にあたって

協会は、上記三つについての知見を、中部経済新聞のこの「ナビゲーター」欄で紹介し、幸いにも好評を得ました。具体的には、「メンタル不調にならないために」というタイトルで23回（2018年7月～19年2月）、「人生100年時代に向けたキャリア開発その考え方と方法」というタイトルで25回（19年7月～20年1月）、「働く人と組織」というタイトルで47回（20年5月～21年3月）です。

前3回では主に理論的なことが中心でしたが、今回は実務的なことを紹介したいと思えます。協会の会員である産業カウンセラー・キャリアコンサルタントが、自己の経験も交えて、資格を取得しようと思った動機、資格取得のための苦勞、資格取得後の仕事の内容、カウンセリングの実態、資格を取得してよかったこと、日ごろ感じていること、今後のあり方について思うことを赤裸々に紹介します。

読者の皆さまに、産業カウンセラー・キャリアコンサルタントはどんな人がなっているのか、どんな仕事をしているのかを「紹介し、ご自身もこの機会にぜひ資格に挑戦しよう」というように思っていたら幸いです。協会の会員の活動をぜひ知っていただくとともに、協会の存在につきましても理解していただき、今後のお仕事に役立てていただければと思います。

【日本産業カウンセラー協会中部支部会員
産業カウンセラー 国家資格キャリアコンサルタント 社会保険労務士 杉本和夫】
（火曜日掲載）

